

# 年頭の あいさつ

豊山町議会議長

坪井 孝仁



愛知県知事

大村 秀章

あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、物価高や人口減少など、社会全体が大きな変化に直面した一年でした。また、国政において日本初の女性首相が就任するなど、政治の動きが注目された年でもありました。国の動向が地域の暮らしにも影響を与えることを改めて実感したところです。町議会におきましては、「開かれた議会」の実現を目指し、議会だよりのリニューアルや模擬議会の開催など、町民の皆さまと市政とともに考える取組を進めてまいりました。常任委員会においては、現地視察を重ねることで行政課題の把握に努め、より実効性の高い政策提言につなげております。

本年は、活力と飛躍を象徴する「丙午（ひのえうま）」の年にあたります。これまで培ってきた経験と知見を生かし、町のさらなる発展に向け、議員一同、力を合わせて着実な議会運営に取り組んでまいります。

町議会は、町民の皆さまの声を町政に確実に届けるとともに、議決機関としての責務を果たす場であります。今後も、皆さまからの負託に応えられるよう、透明性と公正性、そして未来志向を大切にした議会づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして、実り多い一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年元旦

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年7月、ついに、世界トップレベルのグローバルアリーナ「IGアリーナ」がグランドオープンを迎えました。

また、昨年は「ジブリパーク」が開園から3年を、「STATION Ai」がグランドオープンから1周年を迎えたほか、テクノロジーの祭典「TechGALA Japan 2025」、愛知万博20周年記念事業「愛・地球博20祭」、3年に1度の国際芸術祭「あいち2025」を開催するなど、国内外から多くの人が愛知を訪れ、賑わいと笑顔に溢れた1年となりました。

「ジブリパーク」や「STATION Ai」を始め、これまで積み上げてきた愛知の力と、「IGアリーナ」など新たに加わった力を原動力として、世界と大交流しながらダイバーシティを生み出し、愛知の更なる飛躍に繋げてまいります。さて、今年は、9月にアジア最大の平和とスポーツの祭典「第20回アジア競技大会」が、10月にはアジア最大の障がい者の国際総合スポーツ大会「第5回アジアパラ競技大会」が、いよいよ開幕を迎えます。

両大会は、アジア各国・地域との交流を深めるとともに、愛知・名古屋の魅力を世界に発信する絶好の機会であります。

県民の皆様と一緒に、両大会を大いに盛り上げ、愛知を更に元気にしてまいりたいと思いますので、「層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2027年の「アジア開発銀行年次総会」、2028年の「技能五輪国際大会」など、今後も、愛知を元気にし、日本を元気にするビッグプロジェクトが目白押しです。目まぐるしく変化する世界の情勢に的確に対応しながら、これらのプロジェクトを着実に進め、日本の成長を牽引してまいります。

もちろん、こうした取組とあわせ、喫緊の課題である人口減少・少子化対策を始め、社会基盤整備や農林水産業の振興、教育、女性の活躍、医療福祉、感染症対策、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上、次代の愛知を担う「人づくり」にも全力を注いでまいります。引き続き、「日本一元気なあいち」、県民の皆様すべてが豊かさを実感できる「日本一住みやすい愛知」、すべての人が輝き、未来へ輝く「進化する愛知」の実現を目指し、全力で取り組んでまいりますので、「層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

令和8年元旦